

科目名	環境保健学演習 (Seminar on Environmental Health)			科目コード	M321
選択区分	選択	履修時期	1 後	単位数 (時間)	2 単位 (60時間)
担当教員	鳥居 順子			関連DP	医③⑤⑥
授業概要	環境保健学特論で学んだ内容を基にして、環境汚染物質やその健康影響に関する研究論文の調査・分析をもとに、討論方式を進める。また、PM _{2.5} を例にして簡易測定法や公表されているデータの解析法を紹介し、評価を試みる。				
授業目標	研究論文を通して最近の研究手法や研究成果を理解する。 公表されているデータの意味とその解析法を理解する。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容
1・2	ガイダンス データベース検索	公表データ、研究論文の収集と分析
3～6	タバコ煙に含まれる環境汚染物質と健康影響	タバコ煙に含まれる環境汚染物質と健康影響に関する研究論文読解と討論
7～10	大気中の粒子状物質と健康影響	PM _{2.5} と健康影響に関する研究論文読解と討論
11～14	PM _{2.5} の評価法	PM _{2.5} の測定法、評価法に関する研究論文読解と討論
15～18	環境中の化学物質と健康影響 (1)	環境中の水銀またはヒ素に関する研究論文読解と討論
19～22	環境中の化学物質と健康影響 (2)	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に基づく研究論文読解と討論
23～28	室内空気環境のサンプリング・モニタリング・データ解析演習	室内外のPM _{2.5} を簡易測定する 公表されたデータによる解析を行う
29・30	総括	討論成果の整理と総括
成績評価方法	プレゼンテーションおよび課題レポートにより評価する。	
必携あるいは参考図書・文献	参考文献は、授業時に学術誌より適宜紹介する。	
授業時間外の学習について	各回で取り上げる研究論文を事前に読み、討論に備える。担当回では、説明資料を用意し、プレゼンテーションを行う。 サンプリング・モニタリング・データ解析演習では、得られたデータの解析を行い、討論に備える。	
関連科目	320 環境保健学特論	
備 考	環境保健学特論の履修を前提とする。	